

# 福を呼ぶ帛紗

(二)

守りたい贈るこころ

ふくさ

縹子地 紋織 帛紗裂「鳳凰」

2021年4月26日(月)  
～2021年10月29日(金)

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします。  
状況の変化により、開館日時等を変更する可能性があります。  
詳しくはホームページをご覧ください。

## 川島織物文化館

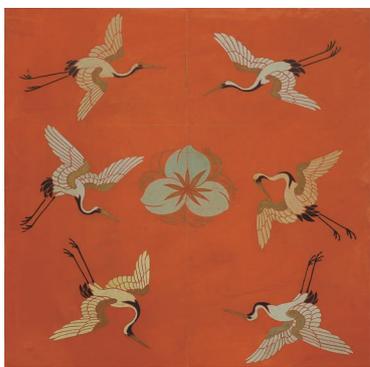
開館時間 = 10:00 - 16:30 (入館は16時まで)  
休館日 = 土・日・祝日 / 夏期・年末年始  
入館料 = 無料

見学ご予約 = 見学は事前にご予約が必要です  
TEL 075-741-4323  
〒601-1192 京都市左京区静海市原町265  
<https://www.kawashimaseikon.co.jp/bunkakan/>

守りたい贈るこころ

# 福を呼ぶ帛紗ふくさ

(二)



帛紗原画「桃鶴」



縞子地 刺繍帛紗「若松」



縞子雷文モール縫帛紗「梅花唐草」

「贈る喜び」「もらう嬉しさ」は、いつの時代も共通しています。日本にはかつて、どんなラッピングにも劣らない贈りものの作法があり、広蓋や三方に乗せた品を風呂敷で包み、その上に掛帛紗と呼ばれる贅沢な裂を被せて進呈しました。近年ではあまり目にしなくなった掛帛紗ですが、江戸時代より慶弔や季節の挨拶など、あらゆる贈答に使われてきました。川島織物文化館には、研究のために蒐集したコレクションとともに、川島織物が明治中期頃に考案した自由な発想の図案が数多く残されています。新しい生活様式の中で、思いを込めて「贈る」という古き良き風習が守り伝えられていくよう、今回はコレクションを含めた掛帛紗をご紹介します。



帛紗原画「波に稲穂」



紋織帛紗「五彩瑞雲」



中帛紗原画「蛇籠と菊花」



帛紗織下絵「雲間の富士」(部分)  
帛紗原画「舞楽図」(部分)

同時開催中

素敵な帯みつけた  
～明治から令和に伝える  
時代に寄り添う和の装い  
～2021年6月30日(火)

祭の幕  
～2021年8月31日(火)

あなごるなかれ 織物図案  
葵 祭  
～2022年1月31日(月)

## 川島織物文化館

KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265  
TEL : 075-741-4120

■ アクセス

- 電車・バス
  - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 京都バス (50/52 系統)「小町寺」下車 徒歩約 5 分
  - ・叡山電車「市原駅」下車 徒歩約 7 分
- お車
  - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約 15 分
  - ・京阪電車「出町柳駅」より 約 25 分
  - ・京都駅より 約 40 分
  - ・名神高速道路「京都東 IC」「京都南 IC」より約 60 分



見学は事前にご予約が必要です TEL : 075-741-4323

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

川島織物文化館は、1834(天保14)年創業のファブリックメーカー、株式会社川島織物セルコンが運営する、国内最古の企業博物館「川島織物参考館」(1889(明治22)年創設)をルーツとする施設です。

株式会社川島織物セルコン